

血液検査結果票をもらったけど・・・

どう見たらいいの？

血液検査の結果には、項目と数値は書いてありますが、どういう意味があるかまでは書いてありません。

基準値や各項目の意味、特性を理解することが重要です。



検査結果をもらったら

自分の結果が実施した病院の基準値のどの付近にあるか？
チェックしましょう！

基準値内→ ほぼ安心

基準値外→ どの程度外れているか？

次に以前実施していれば、そのときの数字と
比べてみてください！

(あまりに間隔があいてしまうと意味をなさない)



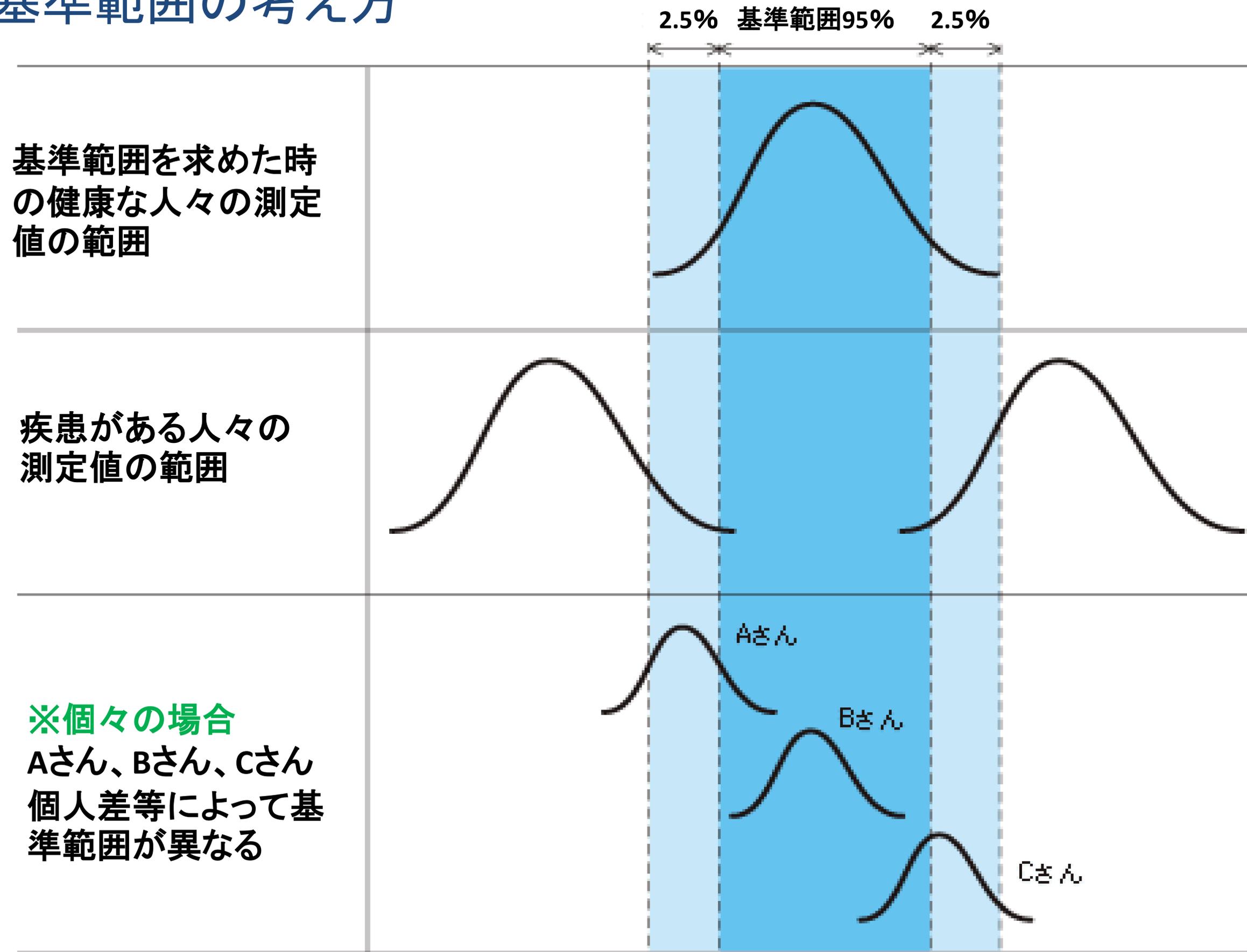
基準値とは

臨床検査成績には“基準の範囲”があり、患者さんから得られた成績は、このモノサシを参照して正常・異常などと判断され診断や治療に役立てられています。

これが基準値（基準範囲）であり、健常人に特有な数値または性状とされています。



基準範囲の考え方



数値が基準値内でも安心は禁物

血液検査の数値には個人差があるので、数値が基準範囲外だったからといって必要以上に心配することはありません。

逆に数値が基準範囲内であったとしても、急激に数値が上がったり下がったりした場合は、何か異常が生じているのかもしれない。

たとえば、ずっと数値が基準範囲の下の方で安定していたのに、最近、急に上限に近づいてきたというような場合は注意が必要です。

数値そのものも大事ですが、数値の変化も重要なのです。



心配なことがあれば迷わず医師に相談を！

気になる値、気になる症状、心配事がある場合には、やはり、**医師の診察を受けることが重要**です。

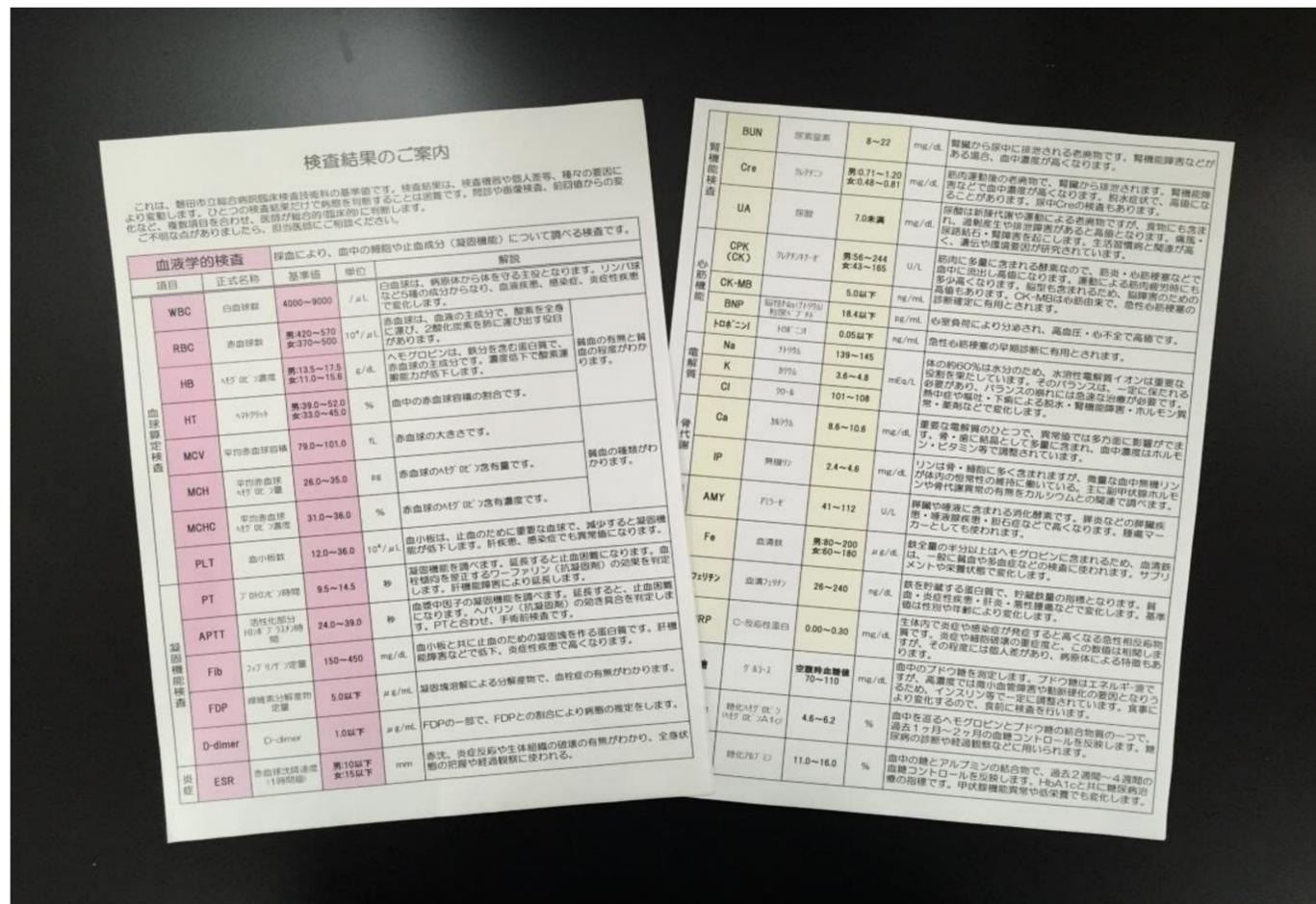
検査結果がそれぞれの基準値を下回っている場合は、「**L(Low)**」、高い場合は「**H(High)**」と表示されるなど、表示のしかたも様々ですが、基準値から外れていることが必ずしも病気や異常を示しているわけではありません。

検査の結果と病気の診断については、必ず医師に相談したうえで理解しましょう。



各血液検査項目の解説

主な血液検査項目の解説を掲載した「検査結果のご案内」を中央採血室にて配布していますので、是非ご利用ください！



最新情報！



ALPとLDの測定法が変わりました

- 2020年4月より

【新しい項目名称】 ALP(IFCC) 、 LD(IFCC)

- ALPについては、測定値及び基準値の範囲が1/3程度になります。
- LDについては、測定値及び基準値の範囲に変更はありませんが、肝疾患では従来法に比べ低値傾向になります。



※ お問い合わせは、臨床検査科 28番窓口まで